



# 日本経済を“明るく”“元気”にするきっかけづくり

- (1) 消費拡大の為の少子化対策 (= 高齢化対策)
- (2) 日本をワクワクさせる2016年オリンピック誘致

平成21年3月21日  
株式会社ローソン  
代表取締役社長CEO  
新浪 剛史

# 日本経済活性化 “元気”にするために今必要なこと

## <現状>

- ・年金等社会保障制度に対する不安  
65歳以上の過剰貯蓄
- ・世界的な景気減速による雇用不安  
20～40代の消費マインドの低迷
- ・出産／子育てに対する負荷大  
益々拍車のかかる少子化

全世代で  
消費マインドは  
縮小均衡  
暗く、後ろ向き

## <対応方針>

今より少しでも気持ち明るくなることによる  
“消費者心理の昂揚”

気持ちを前向きにする為の“仕掛け／きっかけ”作り  
を政府が仕掛けていく！（＝マーケティング）

## <仕掛け／きっかけ>

短～中期：消費拡大の為の少子化対策 高齢者も元気に！！

短期（中長期）：起爆剤としての“東京へのオリンピック誘致”

+ 合わせ技で様々な経済刺激策「特に雇用対策」を実施

# < 仕掛け/きっかけ案 > “子は国の宝物”( = 実は高齢者を元気にする対策)

認識

1. 20代・30代・40代の夫婦は子供が欲しいが生活レベルを落としたいくない。もしくは子供を持つ経済的余裕が無い。
2. 65歳以上の高齢者の方々は孫が欲しいも、自分の子供たちに強制することができない。ただし自分たちは資産を持っている。

施策案

## 1) 子育てをしたくなる仕掛け

- <例> ・子育て世帯に月々一人当たり10万円の手当て支援 (高校卒業まで)  
・子育てインフラの再構築(施設/人的資源)  
・出産 / 幼年医療の無料化  
・企業向け子育て減税  
など...



<例> ローソン山下公園店  
「子育て家族にうれしいローソン」をコンセプトに出店  
カフェや子供が遊べる親が休憩できるスペースを設置

## 2) 資産の世代間移転促進への仕掛け( 5年間限定)

- <例> ・生前贈与の控除枠を大幅引き上げ  
20歳未満になる孫 / 子供がいる場合は、年500万円迄“無税”、  
5年以内に子供を出産すればその分を還付)  
・子育て関連の施設や団体への寄付金控除額の大幅増額

相続税の控除額を大幅削減

「子育てインフラ充実」と「資産の世代間移転促進」を合わせ技で行うことが重要！

効果

結果的に3世代の笑いがあふれている社会の実現！！

- 子育て消費需要拡大(特に高齢者も消費に参加)
- 子育て関連の雇用拡大(特に女性の雇用機会の拡大)
- 子育て施設建設による建設需要拡大 短期的効果
- 仕事をしたい多くの女性のモチベーションアップ

これが  
真の幸せでは！！  
( = 消費は前向きに)

# < 仕掛け/きっかけ案 > オリンピック誘致で日本をワクワクさせる！

2016年オリンピック誘致(10月決定迄の)を国民運動へ！

『子供たちが喜び、笑い、元気になるオリンピックを創っていこう！』

『Tokyo “ECO” Olympic 2016』

~ Tokyo Challenge! ~

(Challenge Chicago! Challenge Sao paulo! Challenge Madrid!)



日本全体に明るい希望を持たせる  
一大マーケティング(仕掛け)活動



「上モノ」には頼らない、環境技術の徹底活用  
(上モノは現在のモノを最大限に活用)

若者のボランティアによる  
誘致活動/大会運営！

マーケティング案を公募し  
国民を巻き込む

<例>:レインボーブリッジを  
歴代メダリストとともに  
市民が歩く！

全メディアによる国際的キャン  
ペーン展開(新聞、ネット、出版、TV)  
<例>:歴代メダリストのメダル  
獲得の瞬間をNHKで放映し、  
盛り上げる！！

仮に開催国にならなくてもオリンピック誘致キャンペーンで  
少しでも元気(消費者心理の昂揚)になれば大成功！

# < 補足資料 > 地方都市の高齢化対応策

先進国において、日本の都市密度は低い  
(2005年時点で人口集中地区に居住している割合は66%)  
都市部に住んでいる人口の割合が高い国ほど、経済成長率が高い



シャッター街  
の存在



人口減少に備えたグランドデザインの必要性

**コンパクトシティの実現 = 密度の経済性**

「住民の活動密度が高く、効率的な空間利用がなされたマチ」

高齢者にとって便利な「マチ」に

医療機関、公共施設、商店街に歩いてアクセスできる  
行政コストの低減

医療コスト、インフラ維持管理コストを削減

サービス業の労働生産性向上

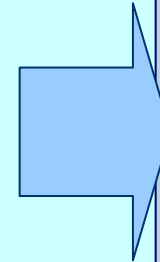
人口密度が2倍になると、サービス業の生産性は約20%増に！？

都市周辺地域の大規模・中規模農業化  
環境への配慮

自動車利用を前提とした生活スタイルから  
公共交通機関を主な移動手段とする生活スタイルへ

サービス業の拡大による雇用創出

特に福祉、家事代行



コンパクトシティ



ex.青森市

認識

効果

# < 補足資料 >

## 『地産地消』・『地産外消』商品 (ローソンの事例)



北海道大満彩弁当



十勝牛めし



山形県産豚の煮込み豚丼



室蘭風やきとり弁当



深谷ねぎたっぷりのせ焼そば



仙台味噌の焼おにぎり



じげもん長崎弁当



銚子産さばご飯



霧島黒豚の焼そば



日南どりのチキン南蛮弁当



徳島のうまいもん弁当



味噌かつ丼(名古屋)



駿河湾産桜海老の彩りご飯

全国の地産品を使った商品を発売して地域の活性化へ